

【実施ガイドライン】

令和3年5月25日作成  
沖縄県小・中学校長会

このガイドラインは、沖縄県の示すガイドラインを踏まえ、人の集まる空間に病原体が持ち込まれることを最小限にするとともに、もし持ち込まれたとしても集団内で二次感染が起きるリスクを最小限とすることを目的とする。

県教育庁義務教育課がまとめたガイドラインをもとに、県校長会が実施する研修会等に関して作成したもので、状況に応じて内容の見直しを行う。

### 1 重点事項

- 研修会・会議等の時間を短縮し、「3密」を避け、「新しい生活様式」を徹底する
- 研修会・会議等の開催通知、チラシ、HP等で、マスク着用による来場を周知する
- 健康状態申告書に記載されている事項について、確認した上で参加するよう徹底する
- 検温をされてない方については、参加をお断りすることを徹底する

### 2 研修会を実施する上での注意事項

- 開催規模(参加人数、参集範囲)
- 開催場所(換気の状態)
- 開催期間・時間(同一空間での滞在時間)
- 参加者同士の距離(近距離又は対面)
- 参加者の特性(高齢者や基礎疾患を有する者)

### 3 研修会場の環境管理

- 【消毒】入場時に手指消毒を徹底する
- 【消毒】共有物の管理又は消毒の徹底と参加者の手が触れる場所をアルコール等を含むもので拭き取りを定期的(1~2時間に1程度)に行う
- 【換気】換気の悪い密閉空間にしないよう換気設備の適切な運転・点検を実施するとともに、定期的に外気を取り入れる換気を行う
- 【換気】一定時間(概ね1時間程度)が経過したら休憩を入れ、会場内の換気を行う
- 【3密】人を密集させない環境を確保するため、参加人数を会場の定員の半数程度とするなど少なく定め、入退場に時間差を設けるなど工夫する
- 【3密】席を一席空けるなど、人を密集させない環境を確保する  
(参加者の距離間を1m、できれば2m空ける)
- 【3密】入場口、退場口を分けるなど、人が交錯する機会を極力減らす
- 【衛生】咳エチケットを励行し、大きな声を発声させない環境づくりを行う
- 【衛生】ゴミ箱は原則、蓋がついていて密閉できるものを用いる

### 4 飲食関係

- 感染症防止のため、ペットボトル飲料を提供する(受付時に各自で受け取る)

### 5 研修会での感染者発生時に備えた協力要請

- 研修会への参加にあたり、氏名、連絡先等の記入、提出依頼に対する協力
- 参加者で感染者が出た場合に保健所の聞き取り調査への協力
- 濃厚接触者となった場合、接触してから14日間を目安に自宅待機することを協力

### 6 研修会への参加自粛要請のめやす

- 検温をしていない方
- 発熱の症状がある方(体温37.5度以上)
- 風邪の症状のある方
- 過去14日以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方
- 感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方

### 7 入場時の体調チェック、登録、ポリシー周知、手洗いについて

入場時の体調チェックの流れ

①手洗い→②体調チェック→③登録(出席確認)→④ポリシー周知→⑤入場

- ① 手洗い・・・トイレでの石けん手洗い、アルコール手指消毒液を徹底する
- ② 体調チェック・・・健康状態申告書(様式1)の提出  
既往症(喘息、花粉症等)の場合は入場を認める  
検温をしないで参加する方の参加は認めない
- ③ 登録・・・参加者で感染者が出た場合の対応に備え、事前申込時及び来場時(受付)に、所属、氏名、連絡先(電話番号等)を把握する
- ④ ポリシー周知・・・マスク着用、咳エチケットの励行  
発熱等、体調不良者の入場制限  
入場時、研修途中の手洗い・手指消毒、拭き取り  
換気の徹底  
大きな声を出さない、対面しない、密集を避ける
- ⑤ 入場・・・④までチェックした参加者は入館を許可する。  
なお、できるだけ分散しての入場・退場を行う

### 8 事後フォロー

収集した個人情報は、目的達成のために利用し、法令に基づく場合または本人の同意がある場合を除き、他に利用及び提供しない。参加者のリストは、県の関係条例等に準じて管理する新型コロナウイルスの感染対策の知識の向上に努める。